ゆりぐみだより

２０２２年度　１０月号

尚徳福祉会　おぐら保育園

秋も深まり園庭の木々の落ち葉や枯れ葉を手にしては、秋の自然の変化を感じ取っています。色々な遊びや経験を重ね、子どもたちはぐんと成長するこの時期。自分の思いをみんなの前で言えるようになってきたり、イメージを持って遊び始めたり、またそれを共有することで遊びの幅が広がりを見せています。子どもたちの成長を見守りながら、日々の保育を楽しく繰り広げていきたいと思います。

☆プール閉め☆

プール閉めはなぜするのか？子どもたちに伝えると『そうなんだー知らなかった』など反応が様々、知らないお友だちに『プール閉めはね、水の神様にありがとうをするんだよ』と教えてあげていました。プール閉めでは、すいか割りをしたり、アイスを食べたりしました。すいか割りは、目隠しをして行い友だちに『右、右、左』と案内され、すいかに棒が当たると喜び、すいかに当たらないと『あー当たらなかった』と悔しがり『もう一回』と再挑戦しようとする姿も見られました。その後、アイスも食べ『みかんあじおいしい』と嬉しそうでした。来年は小学校でのプールということで『小学校のプールって大きいのかな？』と楽しみにしていました。

☆ 夏の思い出☆

楽しかった夏も終わり、子どもたちに一人ずつ、お友だちの前で『いつ・誰と・どこで・何をしたのか？そして、どう思ったのか？』など、発表をしました。話を聞く側も『へぇー』『それでそれで』と、もっと聞きたくなってしまうような楽しい夏の思い出を聞くことができました。

その後、発表したことを絵に描きました。行った場所の風景など細かく表現していました。なかには『どこも行かなかった』という子もいましたが、家でお家の方と『家でゲームしたよ』と家でまったり過ごした子もいました。絵が完成すると『これはねー〇〇していてねー』と再び話をして盛り上がっていました。

☆運動会☆

運動会が近くなると『運動会まで〇〇日だね』とカウントダウンをしていた子どもたち。土曜日は雨で延期となりましたが、日曜日になると天気がよく運動会日和でした。

登園をすると、少しそわそわしていた子どもたち。『なんか緊張するね』『ドキドキするね』と話していました。太鼓の衣装を着ると目つきが変わり真剣モードとなり、堂々と園庭で太鼓を披露することができました。体育遊びでは、一人技、二人技、三人技など一つ一つ元気な掛け声で演じることができ、友だちと協力し合う姿が見られました。大玉転がしでは、お家の方から大玉をもらうと嬉しそうに大玉を転がして、どっちか勝つのか、勝敗の行方を見つめていました。最後のリレーでは『絶対勝つ』と張り切って入場しました。どの子も気合が入っていて、練習の時以上に早く走ることができました。

運動会が終わると『楽しかった』という声を子どもたちから聞くことができました。一つの目標に向けて皆で頑張ることができたこと、そしてそれを成し遂げることができたということが、この運動会で得た何よりの成果ではないかと思います。色々とご協力ありがとうございました。